



レソト王国(アフリカ)にポンプ車を寄贈

令和 5 年度末、上島町消防団岩城方面隊のポンプ自動車を更新し、廃車予定であった旧ポンプ車を一般社団法人日本外交協会を通じ、新横浜ロータリークラブの国際親善活動の一環としてアフリカ・レソト王国に寄贈しました。

寄贈完了を受け、本事業においてご尽力されました新横浜ロータリークラブ前会長の山戸伸孝様が来町され、町長室において上村町長に対し感謝の意を述べられました。現地の寄贈式典においては、国王自らご出席され、たいへんお喜びであったとのこと、寄贈直後に発生した火災においても寄贈車両が大変役に立ったそうです。



レソト王国では、ポンプ自動車は 1 台しかなく、その 1 台も故障のため使用できないタイミングで寄贈が決定しました。今後もこのような事業に積極的に協力していきます。

【参考】レソト王国 南アフリカ共和国の北西部に位置する面積 3 万 km²、人口約 234 万人の国。「天空の国」とも呼ばれ、国土のほとんどが標高の高い山岳地帯で、農業、繊維産業が主な産業となっています。



現地式典(中央がレソト国王)



車両に友好旗



見地での活動の様子

秋季全国火災予防運動の実施について

毎年 11 月 9 日から 15 日までの 1 週間を『秋季全国火災予防週間』と定め、全国で火災への注意が呼びかけられています。これからの季節は、空気が乾燥して火災の発生しやすい気象状況が続きます。火の取り扱いには十分注意し、火災を起こさないように努めてください。

また、各保育所、消防団と合同で下記のとおり防火パレードを実施しますので、お時間がとれる方は沿道で園児にご声援をお願いします。

幼年消防クラブ防火パレード日時

生名保育所	令和 7 年 11 月 5 日 (水)
場所	保育所から立石港まで
岩城保育所	令和 7 年 11 月 7 日 (金)
場所	保育所から岩城港まで
弓削保育所	令和 7 年 11 月 12 日 (水)
場所	保育所から佐島港まで

※時間はすべて 10 時～ 11 時で行います。



令和 7 年 9 月 出動件数 (令和 7 年 9 月 30 日現在)

地区	弓削	生名	岩城	魚島	その他	合計	R7 累計
火災	0	0	0	0	0	0	1
救急	16	9	6	0	0	31	308

【上島町消防署】 ☎ 77-4118

【上島町消防本部消防防災課】 ☎ 77-3166

上島町の誇りとなる 消防団員 絶賛募集中!

11月9日は「119番の日」

火災・救急・救助などの緊急時には、119 番による通報をお願いします。

○固定電話からの 119 番通報について

消防署の位置情報システムにより通報場所が表示されるため迅速に出動することができます。

○携帯電話からの 119 番通報について

通報場所によっては、今治市や尾道市の消防署につながる場合がありますが、上島町消防署へ転送してもらえますので、電話を切らずにお待ちください。

119 番通報時に伝えてほしいこと

- ①災害の種類 「火事」か「救急」もどちらかを伝えてください。
- ②場所（住所） 消防車や救急車が向かう場所（住所）、建物など目印になるものを伝えてください。
- ③状況の詳細 「火事」・・・なにが燃えているのか（燃えている物、逃げ遅れや負傷者の有無） 「救急」・・・だれがどうなっているのか（年齢、性別、怪我や病気の症状など）
- ④通報者の情報 あなたの名前と連絡先を教えてください。

☆現場が確認でき次第、消防車や救急車は直ちに出勤しますので、安全な場所で落ち着いて説明してください。

出勤後、更に詳しい情報を聴取する場合がありますので、ご協力よろしくお願いいたします。

ソラマメは、莢(さや)が空に向かって付くことから名付けられたマメ科の植物で、一寸蚕豆と呼ばれる大粒種が多く栽培されています。小粒種は香川県の醤油豆やイカリ豆など加工品や菓子の原料として利用されます。今回は大粒ソラマメ(一寸蚕豆)の栽培ポイントについて解説します。



(1) 種まきのコツ

ソラマメの発芽適温は 25℃～15℃で暑くても寒くても発芽率が低下するので 10 月中旬～11 月上旬がまき時です。種は、畑に直にまいても鉢(ポリポット)で苗を育てて移植することもできます。種まきのコツは、ソラマメの種は大きいので発芽には酸素と水分が必要なため土中深くに埋めると酸欠で発芽率が低下します(種が腐る)。種まきはオハグロを下にして種のお尻がわずかに見えるように土に差し込むようにまくと発芽率が向上します。あとは加湿にならない程度に水やりを行い発芽を待ちます。

(2) 着花・着サヤ促進のコツ

1 月頃から株元から側枝が出始めます。放置すると 1 株に 10 本以上が茎立ちするため、茎が込み合い放置すると株元の通風や日当たりが悪く、花付きが少なくなります。茎が 40cm 程度に伸びた頃に成長のよい茎を 1 株に 6～8 本程度に残して株の中心に土を載せ株を開かせ、左右に茎を誘引します(図 1 参照)。



▲ 図 1 ソラマメの誘引と摘芯

誘引線(ひも)は幅 50～60cm に約 1m 間隔で対に支柱を立てて横ひもを 2 段から 3 段張りまします。茎が倒れないように茎は誘引ひもに固定しますが、ひもを 2 本張り、茎を挟んでところどころを結わえると効率的に茎の固定ができます。整枝と誘引を行うことで開花が早まり、内側に向いてさやの着生が多くなります。

また、最初の開花位置から 10 葉程度が展葉したら茎の先端を摘芯します(図 1 参照)。摘芯することで茎の伸長を止めて茎の生育やさやの肥大を促進できます。

(3) 栽培上の注意

①アブラムシの防除 ソラマメはアブラムシによりウイルス病が伝染しやすい作物です。ウイルス病の症状は、葉のモザイク症状や赤

褐色の壞疽の発生、葉が縮んで茎の伸びが悪くなります。一度感染すると治ることはないので発生株は早めに抜き取ります。対策として、アブラムシが発生したら農薬防除を行う。また、植え付け畝にシルバー(銀色)マルチや銀色のテープを植物上に張るとアブラムシの飛来が減ります。春季のアブラムシの発生は摘芯をすることで発生が減少します。

②連作は行わない 一般にマメ科の植物は連作を嫌います。連続して同じ場所で栽培すると生育が悪く、病害(立ち枯れ病)が発生しやすくなります。できるだけ連作は避けましょう。

③施肥 マメ科の植物は空気中の窒素を固定するため施肥は控えますが、ソラマメは野菜に近く植え付け前の基肥(もとごえ)とさやが付き始めてから追肥を与えます。大きな実にするために追肥は重要です。マルチをしている場合はマルチの外側に施肥をするよいでしょう。

④鳥獣被害 イノシシやタヌキの侵入対策だけでなく、カラスも成熟したソラマメを食害しますので、収穫期までに防鳥網やテグスを張り、被害を受けないように対策を行いましょう。